

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課(松林公民館)	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	森井 武	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	1 人	1 人	3 人	4 人	115 時間	9.6 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
社会教育主催事業・イベントの参加者数	46,223人	49,000人	47,107人	48,593人	48,282人	42,918人
0	0.0%	0				
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果	Plan / Do									総合評価 (Check)			Action		
		何を・誰を (対象)	どうやって働िका け(手段・方法)	どうしたいか(生ま れる成果・効果)	事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止
1	家庭教育支援関連 事業	各家族化が進む中、市民の学習活動の活 性化を図り、家庭教育を支援する。	定例 定型	0.52	一般	----- -----	170,000 165,600	255,000 250,100	実施事業数	9事業	17事業(1,001人)	S	増加				
2	子ども事業	公民館で活動するサークルや団体、ボラン ティアの協力を得ながら、子どもや親子を対 象に体験学習を実施し、地域のふれあいや 仲間作りを促進する。	定例 定型	0.55	一般	----- -----	150,000 143,000	215,000 213,000	開催事業数(年間)	9事業	11事業(1,088人)	S	増加				
3	社会的要請課題を テーマとした事業	様々な現代社会における課題の解消に向 けて、学習の場を提供し、学習活動の活性化 を図る。	定例 定型	0.75	一般	----- -----	350,000 347,600	125,000 123,800	事業数	15事業	15事業(509人)	S	変動 なし				
4	学習情報の提供	講座等の公民館事業など、地域や学習者の ニーズに応じた情報の提供を行う。	定例 定型	0.27	一般	----- -----	0 0	0 0	情報誌の発行回数(年 間)	8回	12回	S	変動 なし				
5	学習成果の還元事 業	学習成果を生かす機会や、発表と交流の場 を提供する。	定例 定型	0.38	一般	----- -----	210,000 180,000	180,000 180,000	実施事業数	5事業	6事業(5,738人)	S	増加				
6	公民館ふれあい事 業	公民館に市民が集い、学習活動の活性化と 地域コミュニティ創造のきっかけづくりの場と する。	定例 定型	0.45	一般	----- -----	190,000 189,200	240,000 239,900	開催事業数(年間)	9事業	12事業(878人)	S	増加				

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>(5公民館としての取り組みと成果)</p> <p>平成29年度は「公民館フェスタ～茅ヶ崎市の公民館活動を見てみよう・体験してみよう！！」として、11月3日の「市民ふれあいまつり」に合わせ、イオン茅ヶ崎中央店1階正面入り口フロアにて、本市の公民館活動を周知する展示や、日頃各公民館で開催している主催事業をワークショップ形式で行い、参加する楽しさを気軽に体験してもらう機会を創出した。また、ホノルルウィーク展、環境展、食育展などの館内展示や、企画経営課長寿社会推進担当との共催事業(フレイルチェック)の実施など、他課との連携事業も行い、成果をあげたと考える。また、インターンシップ生を受け入れ、公民館事業に携わってもらいながら、若者の視点から公民館のPR手法等について考えてもらうきっかけづくりとした。今後においても、他課との連携や公民館の対外的なPRを引き続き行っていきたい。</p> <p>松林公民館の取り組みと成果</p> <p>松林公民館の平成29年度の事務事業数、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き、12事業であり、すべて「S」評価とした。また、目標値を上回った事業が8事業あり、これは自主事業等の案内を通常の広報媒体に加え、「松林公民館講座情報」を近隣の自治会、小・中学校や地域集会施設、コンビニエンスストア等へ継続的に配架を行っていることが主な理由であると推測され、当館が地域の拠点として一定の役割を果たしているものと考えられる。</p> <p>また、講座参加者にアンケート調査を実施し、「大変満足」、「満足」と回答した参加者が9割以上を占めており、参加者ニーズを満たした事業が実施できていると考える。アンケート調査結果から、当館では子育て世代である30代から40代の事業参加者が全体の3割を占め、増加傾向にあることを鑑み、引き続きこうした世代が参加しやすい事業や環境づくりについても検討を進めていきたい。さらに、平成29年度は、社会教育課と連携を図り、「松林丸ごとふるさと発見博物館」を開催し、472人の来館者があったことから、引き続き庁内関係各課と連携を図りながら、事業を展開していきたい。</p> <p>なお、職員の時間外勤務については、総時間で115時間、一人あたりに換算すると月平均9.6時間であり、前年度の総時間204時間、一人当たり月平均17時間と比較し減少傾向にあるが、引き続き事務の効率化を進めながら時間外勤務の削減に努めることとしたい。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-
-	-	-

5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
11	施設維持管理	公民館の管理に係る業務委託等の契約手続きの見直しを行った。公民館で共通する業務の契約並びに期間の見直しを行い、経費削減と契約等に係る職員の事務の効率化を図った。(清掃業務委託の長期継続契約化、警備委託の長期継続契約化、複写機の賃貸借契約の統合)
-	-	-